

## 2021 年度事業報告

### 【1. 概要】

2021 年は年初から 8 か月程、新型コロナウイルスの感染拡大により、緊急事態宣言下になり、東京オリンピックもなんとか無観客で開催されるという大変厳しい 1 年でした。こうした厳しい経済環境は、子ども食堂の中止や自宅での待機等、子どもを取り巻く環境も一段と厳しいものがありました。

こうした中で、「コロナ禍で生活が困窮して、明日のお米に困る家庭も多い。お米の現物寄付もお願いしたい」との強いご要望を受けて、5 月から「お米つなぐプロジェクト」を始めました。11 月からは熊本県小国町の松丸さん、北川さんの新米が 1 年間を通して支援先に 840kg を届ける事ができるようになりました。

これに加えて、佐渡理事長から「今の時代にお米を食べられない子どもや家庭があることは心が痛む」との思いで 100 万円寄付され、これをベースに「米米プロジェクト」が始まりました。これにより本年は約 50 世帯に 3 回、毎回 10Kg（合計約 1,500Kg）のお米を直接家庭に届けることができました。

このほか、新規の支援先として 2 つの団体を決定して、支援を開始しました。コロナ禍で大変厳しい 1 年でしたが、財団の活動も着実に前に進むことができました。皆様方の暖かいご支援に厚く御礼を申し上げます。

### 【2. 新規支援先の 2 団体を決定】

(1) 1 月に 4 番目の支援先として神戸市の「女性と子ども支援センター ウィメンズネット・神戸」の「WACCA」(わか) 様を決定しました。

この団体は、1992 年、阪神淡路大震災を契機に DV の被害女性と子どもの支援を始められ、女性や子どもたちが安心して過ごせる場所が必要との思いから、民間シェルター（緊急一時保護施設）を開設し、15 年間で 350 組の母子を保護（子ども 404 人）されています。

この中で、「WACCA」様は 2013 年に設立され、困難を抱えた孤立しがちな女性やシングルマザーが集まって語れる場所、子どもたちが誰でも安心して学習支援が受けられるような居場所として活動を続けておられます。

早速、寄付金支援やひとり親世帯への食糧支援（フードパントリー）を行いました。

(2) 8 月 28 日、5 番目の支援先とし東京都葛飾区の NPO 法人「ハーフタイム」 様を決定致しました。

この団体は 2010 年、理事長の石原啓子様が、葛飾区のケースワーカーを退職後、「貧困、虐待、いじめ、不登校、引きこもり、障害、非行などさまざま生きづらさを抱えた子どもたちに寄り添う」団体としてスタートしました。行政、学校、病院などからの支援が届かない 40 数名の子どもたちを受け入れ、毎週 1 回 2 か所で子どもたちとの信頼関係を築きながら、

夫々が抱える「生きづらさ」を一つ一つ乗り越えられるような支援活動を続けています。東京都葛飾区と墨田区で、さまざまな生きづらさを抱えた子どもたちの為に、居場所（たまり場）を確保し、子どもたちの相談や遊び相手などの活動をしています。

### 【3. 新規の支援方法の決定：お米支援2件】

#### （1）「米米プロジェクト」

長引くコロナ禍による非日常の中で、「お米を食べれない子ども達がいるのは心が痛む」との佐渡理事長の一言で6月から「米米プロジェクト」が始まりました。

佐渡理事長が「米米クラブ」の大ファンという事で命名され、困難を抱える家庭48世帯（2団体）の子どもたちのために直接各家庭に毎回10Kg、6月、8月、12月の合計3回（合計約1,500Kg）のお米を送りました。お米が届いた家庭からは、10Kgのおコメ袋を重そうに抱きながら笑顔の子どもの写真が感謝の手紙とともに事務局に送られて来ました。

#### （2）「お米つなぐプロジェクト」

日々の活動を通して寄付金支援のみならず、支援先から日々の食糧に困って居ることから「コメの現物寄付」へのご要望が強く出されました。これを受けて、財団がコメ生産農家（特に財団活動を支援して頂いている熊本県小国町の松丸さん、北川さん）から直接、年間計画で買い入れて現物支給を行うプロジェクト「お米つなぐプロジェクト」を開始しました。

11月からは熊本県小国町の松丸さん、北川さんの新米が1年間を通して支援先に840kgを届ける事ができるようになりました。

### 【4. 主な寄付金の支援先（概数）】

- (1) 「NPO 法人レインボーリボン」様・・・・・・・・・・89万円  
(含む葛飾子ども食堂・居場所づくりネットワークのお弁当プロジェクト分)
- (2) 「NPO 法人ウィメンズネットワークこうべ：WACCA 事業」様・・36万円
- (3) 「NPO 法人ハーフタイム」様・・・・・・・・・・76.5万円  
(含む佐渡理事長からの50万円の寄付金)
- (4) 「パルシック」様・・・・・・・・・・3万円

### 【5. お米の現物支援の経費】

- (1) 「お米つなぐプロジェクト」・・・・・・・・62.6万円
- (2) 「米米プロジェクト」・・・・・・・・83万円

### 【6. 2021年度の収支決算】

2021年度は寄付金目標250万円に対し、大口の寄付金（500万円1名、100万円2名）もあり、最終的に7,460,500円の寄付金、355,648円の賛助金寄付の合計7,816,148円の寄付金収入がありました。

これにより、3,379,916円の寄付金支援並びにお米の現物支援活動ができました。皆様には改めて厚く御礼を申し上げます。

#### 【ご参考. 2021年の主要な支援活動】

##### ≪1月≫

(1)「パルシックみんかふえ」様による「みんかふえ☆冬休みお弁当プロジェクト」へ支援。

\* 冬休み期間：2020.12.28～1.8（12日間）のべ配布数：計135食のうち、財団より¥30,000、60食のお弁当支援を実施。

(2)「かつしか子ども食堂・居場所づくりネットワーク」様による「2020冬休みお弁当プロジェクト」への支援。

\* 実施期間：12日間、のべ配布数：860食の計画に対し、財団より¥150,000、250食のお弁当支援を実施。

(3)NPO法人「レインボーリボン」様による「フードパントリー」支援

財団より毎月¥30,000の支援に加え、満月会会員の関夫美様よりのお米20キロのご寄付を支援。

(4)神戸のひとり親支援施設「WACCA」様による「フードパントリー」支援

(認定NPO法人 女性と子ども支援センター ウィメンズ・こうべ)

1月24日に神戸市長田区のWACCA様を事務局の谷口が訪問し、新規支援決定と目録を手交。

##### ≪3月～4月≫

(1)NPO法人「レインボーリボン」様による「フードパントリー」訪問

\*3月6日（土）当財団の岩鬼理事、吉松理事、事務局の谷口ら4名が「フードパントリー」を訪問しました。

(2)神戸のひとり親支援施設「WACCA」様による「フードパントリー」訪問

(認定NPO法人 女性と子ども支援センター ウィメンズ・こうべ)とお米の寄付

\*「WACCA」さんは、ひとり親家族10世帯限定で、月2回のフードパントリーの活動を続けておられますが、お米が足りずに困っておられました。この窮状をお知りにな

った熊本の農家の松丸伸一様からお米 30 キロのご寄付のお申し出があり、その旨を「WACCA」様にお伝えして、3 月中にお届けしました。

(3) 「かつしか子ども食堂・居場所づくりネットワーク」様による子ども達への「春休みごはんプロジェクト」支援

\* 3 月 26 日から 4 月 5 日までの 11 日間、974 食（88 食/1 日）という大規模な支援が行われたの対し、財団からは 48 世帯（葛飾区 44 世帯、足立区 3 世帯、その他 1 世帯）107 人を対象に毎日 1 食を、協力店 12 店舗で購入できる無料チケットが配布しました。

(4) 「NPO 法人パルシックみんかふえ」様による「新学期図書カードプレゼント支援企画」

\* コロナ禍での支援策として新学期を迎える子どもたちを対象に「新学期図書カードプレゼント支援」を企画され、財団からも一部寄付金による支援を行い、合計 59 名の子ども達に図書カードを配っていただきました。

#### ≪5 月～6 月≫

(1) 食事に困っている子どものいる家庭に直接お米を届ける「米米プロジェクト」が始めました。佐渡理事長から 100 万円の寄付金を原資に、支援先でフードパントリー等で食糧支援を続けている合計 50 世帯（「レインボーリボン」様 30 世帯、「WACCA」様 20 世帯）に、直接各ご家庭にお米 10Kg を 6 月 18 日と夏休み中の 8 月初めの 2 回にわたって実施しました。

(2) 大阪の「ガッツうまい米 橋本」さんから本年 5 月～10 月のお米支援 240Kg を半額でご提供頂く事になりました。

(3) 6 月 9 日、大阪の阿部昌平さんから支援先「WACCA」様へお米 200Kg のご寄付がありました。

(4) 6 月 11 日～14 日、神戸市の「With コロナ KOBE 応援プラットフォーム」の盛島綾乃さんらが、「お米つなぐプロジェクト」で合計 840Kg の新米をお願いしている熊本県小国町の松丸さんと北川さんの水田農家にお礼に訪問され、同伴の事務局の谷口ともども水田の草取り作業にも参加されました。

#### ≪7 月～8 月≫

(1) NPO 法人「レインボーリボン」様の「夏休みお弁当プロジェクト」に協賛

\* 学校の給食が食べられなくなる夏休み中の子どもたちの為に、毎年夏休み恒例の「お弁当プロジェクト」が 7 月から始まり、財団から毎月のフードパントリー支援に加えて、15 万円の支援金を寄付致しました。

- (2) 8月21日、NPO法人「レインボーリボン」様の「フードパントリー」に事務局の谷口がお手伝いに行きました。また、事務局の林からの個人的な寄付であるレトルト食品（段ボール4箱分）も合わせてお渡ししました。
- (3) 8月23日、事務局の吉松と谷口でNPO法人「ハーフタイム」様の石原理事長、三枝事務局長と面談。その後、借り上げの支援現場を訪問しました。同については、8月28日の当財団の会議で支援先に正式に決定しました。また、佐渡理事長から同法人に対して、個別に寄付金の申し出がありました。

#### ≪10月～12月≫

- (1) 10月5日、佐渡理事長が50万円をNPO法人「ハーフタイム」様へ寄付されました。その後、10月24日、NPO法人「ハーフタイム」さんから、支援の御礼のメッセージを頂きました。
- (2) 10月26日、事務局の谷口が「Withコロナ KOBE 応援プラットフォーム」の盛島さんとNPO法人「WACCA」様を訪問しました。また、10月31日の「ハロウィンパーティー」には、「お米つなぐプロジェクト」の第1回分（11月分）新米30Kgを前倒しでお渡し致しました。
- (3) 11月に入り、今年の新規施策の目玉である「お米つなぐプロジェクト」がスタート。熊本県の阿蘇小国郷、北川八郎さんと松丸伸一さんの山間の田んぼで収穫された新米が、これから毎月1年間にわたり、当財団支援先の「WACCA」と「レインボーリボン」さんへ夫々30Kgが発送されます。
- (4) 11月18日、事務局の谷口がNPO法人「WACCA」様の神戸市の新拠点訪問。  
今回は「お米つなぐプロジェクト」新米の贈呈式と、「WACCA」様の引っ越しお祝いとクリスマスプレゼントを兼ねて、絵本などを9冊をお贈りしました。また、毎月のお米支援分とは別に、松丸さんの新米を60Kgも送っていただき、各ご家庭にお配り頂きました。
- (5) 11月27日、NPO法人「レインボーリボン」様主催の「あおと子ども食堂」支援  
今回は9世帯で子ども14人の参加でした。コロナ感染防止のため、お弁当持ち帰りの開催で、58食のお持ち帰りでした。事務局の谷口が、1歳～3歳児担当で、ボール遊びや風船遊びと一緒に遊びました。  
また、「お米つなぐプロジェクト」の贈呈式も行ない、11月から1年間毎月30Kgの

お米をお届けします。プロジェクト始動にあたり、取れたての新米 60Kg を、松丸さんから別途お送りいただきました。贈呈式では、子ども食堂の運営スタッフと、ボランティアの方にもお米 1Kg. を、松丸さんのメッセージとともにお渡ししました。

- (6) 「かつしか子ども食堂・居場所づくりネットワーク」様主催の「冬休みお弁当プロジェクト」支援。2021 年は春休み、夏休みに続いて、冬休みについても世帯数を今までより絞って、困窮度の高い家庭の子どもたち対象に支援して行くことになりました。12 月に 10 万円の支援を行いました。

- (7) 12 月 10 日、NPO 法人「ハーフタイム」様への寄付金贈呈式と新拠点訪問  
佐渡理事長からの 50 万円の寄付金目録贈呈と、2022 年度の支援継続の書面をお渡しするため、吉松理事と谷口事務局員の 2 名で、ハーフタイム様の金町新拠点を訪問。石原理事長・三枝事務局長に、目録をお渡しした後、新拠点をご案内いただき、色々お話を聞きました。

- (8) 12 月 11 日、NPO 法人「レインボーリボン」様の子ども食堂訪問  
事務局員の谷口が子ども食堂とフードパントリーを尋ねました。

- (9) 12 月 18 日：「米米プロジェクト」第 3 回目を発送。  
2021 年最後の「米米プロジェクト」として、レインボーリボンさんの支援家庭 31 世帯、Wacca さんの支援家庭 20 世帯にそれぞれ新米 10kg を贈りました。

以 上